

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	京都精華大学	整理番号	1-3-058
応募テーマ	主として教育方法の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	「自立した学習者による社会貢献の実践教育」 ～環境マネジメントシステムの構築を通じて～		
申請単位	大学全体		
申請担当者	中尾 ハジメ		
<p>(取組の概要)</p> <p>学生を自立した学習者として育成するために「環境マネジメントシステム（EMS）」を用いる取組。教育方法の工夫改善は以下の3点である。1）キャンパス全体と大学構成員全員（学生全員・教職員全員）にてEMSの認証を受けることで、体験学習を実施する実社会と同様の学習環境を提供し、さらに理論学習と体験学習を交互にカリキュラム上へ配置することで段階的学習過程・学習手法を構築し、全学的に自主的な学習者の育成支援を志向している点。2）体験学習の課題を実社会の現実的課題（環境への配慮・EMSへの対応）と設定し、解決支援を学生が自主的・主体的に行うことにより、社会貢献的志向を持つ市民の育成を実践している点。3）環境問題という地域社会問題の解決への協力を、全学的な教育活動の一環に取込みながら対応・支援し、体験学習フィールド（学外組織・機関）のEMS導入・認証という具体的かつ高水準の支援実績として結実させている点。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、京都精華大学の教育目標である「自立した人間の形成」を達成するために、体験主義と学際主義の教育を重視し、既に4年以上にわたって組織的に実施してきた環境マネジメントシステム教育の展開であり、内部環境監査と地域社会貢献としての学外実習に示されるように大きな成果を上げています。</p> <p>現在、大学には、グローバルな環境問題への対応や地域問題の解決が求められており、この取組はこうした社会の要請に十分応える優れた取組であると認められます。とくに、学生が学内だけでなく、学外でも社会的に評価できる水準での実習を行っており、この取組は他の大学、短期大学の参考となり得る優れた事例であると言えます。</p> <p>また、この取組には学生によるこの教育への評価や、学生の環境認識の変化を調査するとともに、学外実習の人員拡大という課題も認められますが、これを克服するならば、さらなる発展が期待されます。</p>			